

令和元年度第7回理事会議事概要

日 時 : 令和元年10月11日(金) 15:30～15:56

場 所 : 森林総合研究所特別会議室

出席者	理事長	沢田 治雄
	理事(企画・総務・森林保険担当)	柳田真一郎
	理事(研究担当)	坪山 良夫
	理事(育種事業・森林バイオ担当)	上 練三
	理事(森林業務担当)	猪島 康浩
	理事(法令遵守担当)	井田 裕之
	監事	鈴木 直子
	監事	平川 泰彦
	総括審議役	吉野 示右
	総括審議役	石原 聡
	審議役	合田 和弘
	企画部長	河原 孝行
	総務部長	永山 正一

1. 開会

(吉野総括審議役)

令和元年度第7回理事会を開催いたします。

本日は報告事項が5件、それでは順次、説明をお願いいたします。

2. 議事

I-1 天皇皇后両陛下の林木育種センターご視察について（林木育種センター）

(上理事)

令和元年9月28～29日国民体育大会にご出席されるため茨城県に入られ、29日最後の日程として、林木育種センターをご視察されました。当日最初に玄関ホールで、機構の概要を理事長から、育種センターの概要を私の方から説明をいたしまして、その後、エリートツリー植栽地で、高橋育種部長からエリートツリー（第2世代精英樹）とその親世代にあたる精英樹を比較して優良性を説明しました。遺伝資源保存棟では、生方遺伝資源部長の説明で、約1万種の種子や花粉を保存している遺伝資源保存施設をご視察いただきました。種子はこの春、植樹祭の際にお手植えをされたものをできる限り集めご覧いただききました。陛下はブナの種子に興味を示され、長期保存技術の開発に成功したことも説明させていただきました。限られた時間の中での説明でありましたが、陛下からお褒めの言葉をいただきました。理事長には当日の対応以外にも、企画段階からいろいろと確認いただき、また、総合調整室、広報普及科及び総務課の方にもお手伝いいただきありがとうございました。林木育種センターの良いアピールができたのではないかと考えています。

(沢田理事長)

お疲れさまでした。何ヶ月にもわたって、茨城県、警察、宮内庁などの対応、また、当日は日曜日にもかかわらず役職員全員が出勤し対応してくれたことに感謝します。

I-2 コンプライアンスの取組状況について（森林整備センター）

(井田理事)

今年度前半上期のコンプライアンスの推進状況をお知らせいたします。

研究開発業務、水源林造成業務、森林保険業務毎にコンプライアンス推進委員会を設け、法令・ルール of 周知徹底のための教育・研修の実施や公益通報窓口の拡充などの取組を行っており、またそこにおきまして、実施状況の点検評価を行っております。これらの取組によりコンプライアンスの推進・周知はかなり進んでいると思われますけれども、今後もコンプライアンス推進のメッセージを、理事長はじめ、役職者の皆様方には率先して、発信し推進し実践し取り組んでいくことが大事かと思っています。今年度につきましては、公益通報制度の周知、ハラスメントの防止に取り組むこととしており、研修等においてもこれらのテーマを取り上げていきたいと思っています。パワハラについて

は、指導とハラスメントの線引きが非常に不明瞭な点もございまして、管理職の皆様には非常に苦慮されているところではありますけれども、双方向のコミュニケーションを十分にもっていただくようお願いしたいと思います。各部門の動きにつきましては表のとおりでございまして、コンプライアンス研修や、情報セキュリティー研修を実施しており、引き続きe-ラーニング研修等の取組を実施していくこととしています。また昨年と同様に、12月には国研協主催の統一の取組としてのコンプライアンス推進週間を設けておりますので、取り組んでいきたいと思っております。公益通報処理につきましては内部通報、外部通報とも、各部門ともゼロ件でございました。上期はこのような状況でして、半年後には今年度を締めた報告をしたいと思っております。

(井田理事)

昨年この場で理事長から公益通報処理の案件について、ゼロであることの可否について問い合わせがありましたけれども、この制度はあくまでも犯罪行為や最終的には刑罰につながる行為を対象にしていることではございますので、こちらはゼロであってしかるべきかと思っております。ただ一方で、職場におけるパワハラとかセクハラ、いじめ、これらにつきましては、それぞれ、苦情相談窓口や、研究不正にかかる特定不正行為は研究不正告発窓口がございますので、こちらの方を活用することかと思っております。

(沢田理事長)

そちらには相談が来ているのでしょうか。

(井田理事)

具体的に数は把握していないのですが、個々には相談が来ているようです。具体的な数を把握するようなシステムにはしていないのですが、実数を把握しておいた方が良いのかもしれないかもしれません。

(吉野総括審議役)

コンプライアンスの意識調査の中には出てきますが、それが具体の相談に上がってこないというのが、総研の実態ではないのでしょうか。そのような事案については正式に上げるように指導しております。

(坪山理事)

整備センターで行っております、著作権のセミナーというのはどういうものなのでしょうか。

(井田理事)

JRRC著作権講座については、整備センターの方で、著作物を書くわけではないのですが、資料の複製やソフトウェアの複製について間違った取り扱いの無いようにするための勉強というか、研修を行っているところです。

(吉野総括審議役)

以前聞いた話ですと、予算要求とかに、新聞とか雑誌の切り抜きを使用する際、それらの著作権等の扱いをきちん承知しておかないと、問題にされる可能性もあるので、研修を実施しているということも聞いております。

(井田理事)

「みどりとふれあうフェスティバル」で使っている資料・教材についても適切に使わないと、著作権に触れることもあるので、気をつけようとのこともあるかと思います。

I－3 令和元年度保険料収入及び保険金支払の実績について（非公表）（森林保険センター）

※石原森林保険センター所長から本件の説明が行われた。

I－4 森林気象害リスク評価に関するシンポジウム開催について（非公表）（森林保険センター）

※石原森林保険センター所長から本件の説明が行われた。

I－5 環境報告書2019について【別冊】

(柳田理事)

皆様のご協力により、環境報告書2019ができました。こちらについては9月の末日までに公表しなければならないこととなっており、機構のホームページ上には、タブレットの資料のように、掲載されています。ただ印刷物が、最終段階で誤字が見つかり、もうしばらくしますと、製本したものが届きますので、その点よろしく願いいたします。

(鈴木監事)

いつごろできるのでしょうか。

(吉野総括審議役)

来週ぐらいだと思います。

(吉野総括審議役)

ほかに質問がないようでしたら、これで令和元年度第7回理事会を終了いたします。次回の令和元年度第8回の理事会は11月8日（金）に森林総合研究所で行います。

3. 閉会

